

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立観音崎公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横須賀土木事務所

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月27日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月8日	6月26日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月10日	7月29日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月10日	8月20日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月10日	9月29日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月9日	10月28日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。〕

<提案内容の概要>

- ①観音崎を楽しむ拠点としてのイベント等を充実
- ②観音崎自然博物館、横須賀美術館や青少年の村、京急ホテルなど周辺施設と連携を図る
- ③園内の広場や森のロッジを活用し市民ボランティア等と連携した自然、歴史地層のガイドツアーの実施
- ④環境に配慮した管理運営の取り組み

<実施状況>

- ①5月連休、夏休み、9月連休に公園利用促進のイベントを開催し、インフォメーションを設置し、来園者に公園情報を提供した。
 - ・5月連休イベント(5月2日～6日) 800名参加
 - 連休の来園者を対象に「作って、食べて、遊んで、楽しめるクラフト教室や物販などを実施。3日に行った
- ②観音崎自然博物館、横須賀美術館、青少年の村や京急ホテルと毎月1回、公園協議会を開催し、近況報告や連携したイベント開催などを検討した。
- ③市民ボランティア団体であるフィールドレンジャーによる、自然・歴史・地層などのガイドツアーを毎週日曜日に開催している。また、新規に5期生を募集し、5名が応募。諸先輩を講師として講習会を6/14, 6/28, 7/12, 7/19, 9/13, 9/20に開催した。
- ④環境に配慮した管理運営の取り組みとして、キリギリスなどの棲息地を確保するため、パッチワークな草刈を実施し、生物多様性に配慮した植栽管理を行っている。また、市民ボランティア団体による貴重植物の保全活動を月1回行っている。エコキャップ運動やグリーンカーテンの設置を実施した。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	107,581	79,800	27,781	107,581	0
上半期計 (a)	61,544	39,852	0 (0)	52,731	8,813
4月	8,615	6,335	2,280 (1,930)	4,307	4,308
5月	8,783	5,917	2,866 (2,103)	9,429	△ 646
6月	10,052	8,632	1,420 (1,385)	8,434	1,618
7月	10,047	5,786	4,261 (4,538)	11,282	△ 1,235
8月	15,194	7,197	7,997 (7,209)	11,289	3,905
9月	8,853	5,985	2,868 (1,992)	7,990	863
下半期計 (b)			0 (8,088)		
合計 (a+b)	61,544	39,852	0 (0)	52,731	8,813

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

高速道路の延伸による馬堀海岸ICの開通や土日有料道路のサービスや連休や夏休みに公園利用促進イベント開催による来園者増・駐車場利用者増により、収入が増加した。イベント開催中にインフォメーションセンターを設置し公園情報を広めたことも集客増の一因である。

また、再委託先の見直しや、駐車場料金徴収業務など効率化を図り、支出額の圧縮に努めている。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	400,600人	340,000人	17.8%
4月	79,000人	59,200人	33.4%
5月	69,300人	57,300人	20.9%
6月	47,500人	42,900人	10.7%
7月	57,400人	61,500人	△6.7%
8月	79,600人	68,000人	17.1%
9月	67,800人	51,100人	32.7%
下半期計 (b)	0人	0人	
合計 (a+b)	400,600人	340,000人	17.8%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

高速道路値下げや横浜横須賀道路が延伸されたことにより、観光客を主として全体的に利用者が増加したと思われる。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	5	1	0	0	6
5月	1	0	1	0	114	116
6月	0	3	0	0	0	3
7月	2	4	1	1	1	9
8月	1	2	0	0	0	3
9月	0	3	0	0	0	3

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者により評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・第1P身体障害者用トイレから水	・すぐ確認し、対処
	・	
職員対応	・蜂の巣を処理してほしい	・すぐ確認し、処理
	・	
事業内容	・コインロッカーほしい	・コインロッカーはない旨を伝えた
	・園内に売店・自動販売機ほしい	・今後の課題として検討
その他	・自動販売機の故障	・故障原因確認後、業者で対処
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

今年の春先は、いたずらによる不祥事が多かったが、7月以降は事故・不祥事の発生は特になかった。

発生日	概要・対応状況等
4月19日	花の広場トイレ器物損壊・被害届を提出
6月5日	海岸園地沿いの外灯C004が投石による破損・灯具交換実施
6月23日	海の子とりで クライミングウォールのホールド`盗難69個・資材購入後設置

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	台風通過に伴う安全管理（緊急時の連絡や初期対応の報告）がよく出来ていた。また、公園利用促進のためのイベントを開催し集客向上に努めている。市民ボランティア、公園関係機関との調整や地元町内会と連携を図るなど地域活動を活発に行っている。バリアフリー対策や施設の老朽化に対する配慮が今後の課題である。
施設所管課	今年度は、毎年強風時に倒木等が発生している状況の改善のため、来園者に危険が及ぶ可能性のある枯損木処理を年度当初より上半期だけで138本実施、枝おろしも167本実施し、園内の安全確保の強化に積極的に努めた。また、台風等警報発令時の対応も、積極的に被害情報収集・報告をし、来園者の安全確保に積極的にかつ早急に努めた事が評価できる。また、利用促進・地域連携のためのイベントも積極的に展開してきている。施設のバリアフリー対策や老朽化に対する対応については、指定管理者と協議しながら検討していく。